

MU

Tokyo Managers' Union

ファイティングポーズ

発行：東京管理職ユニオン / 編集：MUニュース編集委員会
 〒151-0053 渋谷区代々木4-29-4 西新宿ミノシマビル2F
 ユニオン運動センター(UMC)内
 [電話]03-5371-5170[FAX]03-5371-5172
 [ホームページ(URL)]http://www.mu-tokyo.ne.jp
 [Eメール]sodan@mu-tokyo.ne.jp

2017年3月4日発行

VOL

204

オマエがバカだから出来ないんだ!

やる気あんのか、コラ! 聞いとんじゃ!

(株)青林堂で発生した常軌を逸したパワハラ事件の記者会見に、
 多くのメディアから取材をしていただきました!

東京管理職ユニオン 2017年2月13日
青林堂パワハラ事件 記者会見



2017年2月13日、厚生労働省記者クラブにて、東京管理職ユニオンが闘う「青林堂パワハラ事件」の記者会見を行いました。本事件は、2014年に発生した青林堂による組合潰しの解雇事件に端を発します。裁判などで解雇は無効と判決され、青林堂は当該中村さんへ給料を支払うことを命じられました。その後の交渉で復職和解し、中村さんは2015年10月に復職するも、初日から青林堂の会社ぐるみの常軌を逸したパワハラを受け、2016年2月に休職休職に追い込まれました。本件裁判は、青林堂の異常かつ執拗な中村さんに対するパワハラと、組合への誹謗中傷などの損害賠償を求める裁判です。(4~5面参照)

記者会見には、東京管理職ユニオンの鈴木剛執行委員長、当該の中村さん、代理人弁護士である佐々木亮先生が出席しました。

まず、鈴木委員長が事件の概要と記者会見の目的などを説明し、膨大な音声記録証拠の中から、代表的なパワハラ発言を数例再生しました。この記者会見の直前に、TBSテレビ「ニュース23」の放送で、青林堂社長夫妻や株主斉藤氏による異常なパワハラ発言を紹介していたこともあり、当日はこの音声の公開も会見の目玉となっていました。

「悪いこと言わんからユニオン辞めな」「労働組合といたら皆左翼」「(中村の仕事は)アルバイトの手伝い」「スパイじゃん」「公安に知らせてる」等々。

営業を命じておきながら外出禁止など、にわかには信じがたい青林堂の珍妙な命令についても質問は多くありましたが、音声が行くと会場は一種異様な空気に包まれました。「はい、スト

決行!12時10分」静まり返った厚労省記者クラブに、渡辺専務のヒステリックな叫び声だけが響き渡る様子は異常空間でした。まさに、暴言のワンダーランド。音声聞いた時の記者の皆さんのドン引きした表情が印象的でした。

次に代理人弁護士佐々木先生から、裁判の争点の説明をしていただきました。(4~5面に詳細)

最後に当該中村から、過去を清算し未来へ目を向ける為の裁判であり、パワハラで苦しんでいる皆様が助かるためのヒントになるような闘いにしたいという主旨の決意表明をしました。ちなみに、ニュースなどで当該中村が顔を歪めている様が放送されましたが、報道にもあった「ストレス性の咳」を堪えていた表情です。青林堂擁護派の皆様は、中村が泣いていることを前提に色々書いて居られるようですが、全くの失当であります。

今月の
 主な内容

- MU NEWS | e-Revolutionary、新入組合員説明会、エディーファミリー解決報告……2
- 連合解雇金銭解決反対集会、2.10全国ユニオン行動報告、連合春闘開始集会……3
- Close up | 青林堂事件、訴状要約……4-5、執行委員会ニュース、事務所だより……6
- コラム | エンタメ/ミュシャ展/佐野元春、エコ/脳の活性化……7
- 組合員インタビュー | ヤマトプロテック 石井忠信、争議レポート | 久光製薬 平川就一……8